

2019年2月12日  
株式会社CRI・ミドルウェア  
(コード番号：3698、東証マザーズ)

## CRI、パイオニア、Diracが開発した 音響補正アプリケーションが 富士通パソコン「FMV」のデスクトップモデルに採用

近年、音声を再生する装置の筐体構造が小型・薄型化しており、スピーカーが機器の内部にある場合、音がこもりがちになります。さまざまな市場で良好な音質を実現するための音響・音場ソリューション技術が求められている中、株式会社CRI・ミドルウェア（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：押見正雄、以下CRI）は、パイオニア株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役兼社長執行役員：森谷浩一、東証一部：証券コード6773、以下パイオニア）、Dirac Research AB（スウェーデン ウブサラ市、CEO：Dr. Mathias Johansson、以下Dirac）と、それぞれのサウンド技術を融合した音響補正ソリューションを開発し、幅広い市場向けに提案しています。

このたび、富士通クライアントコンピューティング株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長 齋藤 邦彰）が2月に発売する富士通パソコン「FMV」のデスクトップモデルに、3社が共同で開発した音響補正アプリケーション“Dirac Audio by CRI for Fujitsu”が採用されました。



【富士通パソコン「FMV」 FH77/D1】

### 【3社が共同開発した音響補正アプリケーション“Dirac Audio by CRI for Fujitsu”について】

Diracの音響補正・音場補正技術「Dirac Audio enhancement」をベースに、筐体上の音質や音場定位などの課題解決ノウハウを持つパイオニアが音響チューニングを行い、ゲームやアミューズメント機器で実績のあるCRIのサウンドミドルウェア「CRIWARE（シーアールアイウェア）」と組み合わせることで、筐体スピーカーのこもりがちな音をリアルタイムに補正し、クリアに再生することができます。また、スピーカーの間が近いと左右の音が混じり失われてしまうステレオ感を左右の音を補正することで、臨場感を最大限に引き出します。

3社は今後も、幅広い市場に向けて良好な音質を実現するための音響・音場ソリューションを提案していきます。

## 【株式会社CRI・ミドルウェアについて】

「音と映像で社会を豊かに」を企業理念として、主に音声・映像関連の研究開発を行い、その成果をミドルウェア製品ブランド「CRIWARE」として、ゲーム分野や組み込み分野を中心にさまざまな分野に展開しています。CRIは、「CRIWARE」を通じて、ユーザビリティの向上、クオリティ向上のための技術やソリューションを提供し、開発者の皆様の課題解決をサポートするとともに、エンドユーザーのユーザビリティの向上をサポートしてまいります。

<https://www.cri-mw.co.jp/>

## 【パイオニア株式会社について】

パイオニアは、1938年にスピーカーマーカーとして創業し、「より多くの人と、感動を」という企業理念のもと、数々の世界初の製品やサービスをグローバルに展開しています。カーエレクトロニクス事業を主軸として、先進技術の開発に加え、新しい車載向けエンタテインメントサービスを提供することで、安心・安全かつ快適で楽しい車室内空間を創造してまいります。

<https://jpn.pioneer/ja/>

## 【Dirac Research AB について】

スウェーデンのウプサラ大学の研究機関を母体として 2001 年に設立された、世界的に有名な音響技術会社で、スウェーデンに本社を、日本、米国、韓国、ドイツ、中国に拠点を置いてグローバルに事業を展開しています。モバイル機器、自動車、住宅、劇場などの商業用施設向けに最適なサウンドソリューションを提供しており、音質改善に関する高い技術力と、短期間で製品を市場投入できるサポート力が高く評価されています。

<https://www.dirac.com/>

※CRI、CRIWAREロゴ、「CRIWARE」は、日本およびその他の国における株式会社CRI・ミドルウェアの商標または登録商標です。  
※その他、文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

以 上

本リリースに関するお問い合わせ先  
**株式会社 CRI・ミドルウェア**

広報担当

E-mail : [press@cri-mw.co.jp](mailto:press@cri-mw.co.jp)

URL : <https://www.cri-mw.co.jp/>